

九十九里地域医療夏期セミナー 2013 垣根を越えたその先に ～私に見えた、光～



本日は九十九里地域医療夏期セミナー2013に参加した薬学生4名と看護学生1名にお話を伺いました。

セミナーに参加しようと思った理由は？

中野) 私は去年も学生スタッフとして参加したんだけど、正直、「自分にできなかったこと」が多くなって、ずっと気にしてて……。今年参加して、自分の成長を自分自身で確かめたかったっていったら、変かな(笑)

名執) 「自分にできなかったこと」って何ですか？

中野) うん、去年スタッフとして参加して、学生の中では年長だったんだけど、うまく仕切れてなかったって思っていて……。ただ指示して人を動かすとかじゃなくて、後輩たちの心に響くような振る舞いが自分自身でできていなかったのかなって……。

名執) 僕も去年も参加したんですけど、頑張ってたじゃないですか(笑) そんな風に考えてたんですね。僕も去年の忘れ物というか……。去年のセミナーが終わってから、学生スタッフで「地域医療に関する情報誌」を作ろうって、みんなで頑張ってきたんだけど、振り返ってみると、「作りっぱなし」だったのかなって……。作り手は作って満足しちゃうけど、その情報が本当に地域の人の手に届いて、その情報に価値を見出してくれないと、作った本当の意味は無いのかなって……。だから、もっとしっかりと「地域の問題」を見極めたいなって思い参加しました。

福地) 先輩たちは、去年も参加されたんですね。すごく前向きにいろんな事考えてて……。ちょっと自分が恥ずかしいな～。僕は先輩たちみたいに色々な経験してないし、大学生活の中でも「自分って、ホントに何にもできないヤツだなあ～」って、最近感じる事が多くて……。何か「自分からアクション起こして、自分を変えたい」って思ったんです。もちろん名執先輩に声をかけてもらえたってことも、今回参加するきっかけになりました！

増淵) うん。「自分を変えたい！」とか、「何か変化が欲しい！」って気持ち、すごくよくわかるな。私はこの春、大学の海外研修(米国)に参加して、「これからは、もっといろんなことにチャレンジしよう！」って心に誓って……。そんなときにこのセミナーの存在を知ったから。「20歳の誓い」ってことかな？(笑) そう言えば、蓮見さんは看護学部からの参加だけど、何か特別な思いとかはあったの？

蓮見) 最初は、看護の長井先生に声をかけていただいたのがきっかけだったんですが、私はこの大学に入学するときに、地域医療とか専門職連携ってことに興味があって……。大学では、「将来の看護師像を描きなさい」ってよく言われるんですが、正直まだ確固たる像が見えてなくて……。やっぱり「経験した先にはしか見えないこと」っていっぱいあるのになって。大学に入学してからは、思ったほどには薬学や福祉の学生と膝を詰めて議論する機会も多くなかったから……。これはいいチャンスだ！って。また、このセミナーには医療従事者の方もたくさん参加されるって聞いていたので、やっぱり経験豊富な

大人の方の声は絶対に聞き逃しちゃいけないなって！

名執) 蓮見さん、スゴイよ。負けてられないなあ～。

参加した感想をお聞かせください？

名執) やっぱり、中村伸一先生の講演はすごかった！プレゼンテーションスキルもめっちゃくちゃスゴ過ぎて……。ご自身を振り返っての20年間、すごく過酷で大変な地域医療のキーパーソンなのに、講演中は、「すごく充実して、幸せなお仕事をされてるな」っていうのか、「先生は、スーパーマンか！」って(笑) 正直すごく魅力的でかっこよくて、「自分も立場は違えど、あんな風になりたいな」って思ってたけど、やっぱりどこかで「自分じゃ、無理かな」って……。ちょっと歯がゆい気分にもなっちゃったけど。

蓮見) 本当にすごかったですね、中村先生のご講演は。患者さんやご家族との接し方、看護学生としても至福のひと時でした(笑) でも、私も「中村先生のようにになれる？」って聞かれたら、「無理です！」って言っちゃいそうです。今は、冷静に考えても、患者さんにとって有益なこと、私は何一つとして持っていないし……。だからこそ、悲観的になるんじゃないかって、これからいろんなこと経験して、力をつけていきたいなって思えました！

増淵) そういえば中村先生、最後に「地域の医療や健康に大事なことはソーシャル・キャピタル」って紹介していたよね。

中野) うん。たしか、「規範」、「信頼」そして「ネットワーク」がキーワードだよな！みんなは、それぞれのキーワードについて、何か思い当たる？

増淵) ネットワークって大事だなって。正直今回のセミナーでは外部の方々とうまくネットワークづくりにできたかどうか。でも、学生生活の中でも少しでもネットワーク広げられたらなって思ってます。

福地) 僕は「信頼」ってすごく大事なことだと思います。僕は、「自分に成長のきっかけを与えてくれた人は信頼できるな」って。でも自分が他者にとって「信頼するに足る人物」になれているかっていうと……。ちょっと自信がないな……。でも、自分から相手を信頼できなきゃ、相手の信頼だって得られないのかなって思ってるんです。

中野) あと、引き出しを増やすっていうのか、他者とのコミュニケーションの中で、相手の興味に correspond できるだけの情報量を持ってること大事かもしれないね。ホントは、専門的スキルで信頼を獲得できるのが理想なのかもしれないけど、日常生活の中のほんのちょっとしたこと、雑談とかでも相手の興味に応えられるって大事なことだと思う。



増淵 絵莉(薬)
都立科学技術高校出身(東京都)



福地 陽介(薬)
県立東金高校出身(千葉県)



名執 翔(薬)
都立日野高校出身(東京都)

蓮見) そうですね。会話の中で、相手の望む言葉を発してあげられるって、とても大事だと思います。そのためにも、「人をよく観察すること」が重要な

かな？でも、時には相手が望まない言葉を発する勇気も持たなきゃいけないだろうし、そんな言葉の後にも信頼関係が維持できていたら、理想ですね。

これからの自分に光は見えましたか？

増淵) 私は、このセミナーを通じていろいろな方とお話できて、いろいろな考え方に触れることができて、それが一番の収穫でした。今回のセミナーではHPを管理していたんですが、来年のセミナーに向けてこれからもHPを更新していく予定です。その中で、いろいろな方との「つながり」を大事にしていきたいなって思っています。

名執) 僕も、「つながり」っていう意味ではこのセミナーで出会えた千葉大の医学生と今でも連絡を取り合っています。やっぱり自分とは違う環境にいる人の考えとかにはいつも触れていきたいなって思ってます。また今回のセミナーでは、学生スタッフの年長者としてリーダーシップがとれたかな？って自分自身を褒めてあげたいです(笑) これからも大学生活に、そして自分磨きのための活動でも、もっともっとリーダーシップを発揮できる人間になりたいと思えました！



中野 美憂(薬)
都立美原高校出身(東京都)



蓮井 令奈(看護)
県立東金高校出身(千葉県)

蓮見) セミナーが終わってから千葉大の薬学生の方からメールをいただきました。「ありがとう！」って書かれて……。すごく嬉しかった！ホント、このセミナーに参加して新しい出会いがたくさんあって……。私は病院に就職することに決めているから、保健師の資格はいいかな？って思っていましたけど、在宅看護をされている看護師の方とお話しをしているうちに保健師の資格にも、「挑戦したい！」って思えて。早速カリキュラムの一部変更もしました(笑) また地域のリーダーの方々との出会って、「私も将来地域を引っ張ることのできるリーダーになりたい！」って思いが強く芽生えました。そのためには、地域との係わりがとて大事なことで、保健師の資格はなおさら絶対必要だなって！本当に、「やりたいこと」や「やらなきゃいけないこと」に気付かせてくれたセミナーでした。とにかく、「今だからできること」に精一杯チャレンジしていきたいと思えます！

福地) 僕はまだ2年で、大学では基礎的な授業も多く、「医療」に触れる機会は少なかったんですが、このセミナーで「生の声」に触れることができて、改めて「自分はホントにダメなヤツだなあ～」って思いました。でも、この気づきはホント僕にとっては新鮮で、これまでの露が少し晴れた気がします。ホント、学生時代にもっといろんな経験しなきゃって。僕もセミナーに参加していた他大学の学生とは連絡を取り合うようにして、これから「違う学部で学べる仲間」に刺激を与えられるような存在になりたいなって思えました！

中野) 社会の一線で活躍されてる方々と会話できる機会っていうのは、学生生活の中では貴重だよな。すごくたくさんの気づきを与えてくれて。でも一番の気づきは、これまでの自分のふがいなさ。ホント、反省。あとやっぱり、地域医療っていうのは「人に支えられているな」ってことかな？少なくともこのセミナーに参加した私たちも、「経験を人に伝える」ことはこれからも続けていかなきゃいけないと思うし、何かもっと積極的にいろいろなことに係われたらいいなって思いました。

名執) ホント、僕たち経験したことは同じセミナーだけど、それぞれがいろんな感じ方を……。後の続きは、セミナーの打ち上げで語ろう！



城西国際大学の6年制薬学教育



「遠くの大病院よりも、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

九十九里地域医療夏期セミナー 2013

「地域完結型の医療と福祉」～垣根を越えたその先に・・・～

主催：九十九里地域医療協議会 共催：千葉県立東金病院・地方独立行政法人さんむ医療センター・山武郡市医師会・山武郡市歯科医師会・山武郡市薬剤師会・東金商工会議所・NPO法人 地域医療を育てる会・城西国際大学 後援：大網白里市・九十九里町・山武市・東金市



8月31日、9月1日の両日、九十九里地域医療夏期セミナー2013が開催されました。千葉県立東金病院平井愛山院長（写真左）による開会あいさつの後、国民健康保険 名田庄診療所 中村伸一先生の基調講演「地域に寄りそ医 20年」により本セミナーが幕開けしました。本学薬学生、看護学生、福祉総合学部生のみならず、千葉大学（医・薬）、広島大学院、創価女子短期大学、東京学芸大学など53名の受講生と医師・薬剤師・保健師・看護師・大学教員・自治体職員・地域住民など多彩なセミナースタッフの熱い2日間が始まりました！



自分たちの「想い」の詰まった、1枚の未来予想図

1日目の午後は、地域のフィールドワーク。在宅医療・救急医療の現場や在宅緩和ケア、訪問看護の実際、そして高齢者ケア施設の取組みや生活相談窓口・自治体のビジョンなどを伺い、地域の潜在的・顕在的医療関連リソースを抽出しました。2日目は、参加者がグループを形成しお互いに情報共有（ワールドカフェ）、ケース・スタディに基づく課題発見・解決策をフィールドでの経験を活かして行い、プレゼンしました。これは参加学生一人ひとりが、「これから自らの手と足で実現していく未来予想図」となったことでしょうか。



来年の再会を約束して・・・

充実した2日間は、グループワーク成果の発表とともに終了となりました。さまざまな職種の専門家や学生、そして地域の住民が一同に「地域完結型の医療と福祉」を語り合いました。議論の対象が「実現」する。その姿は、きっと来年のセミナーで・・・九十九里地域医療夏期セミナー2014へ続く・・・。

2014年度
入学生 募集

大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程
薬学部 医療薬学科 (6年制)
城西国際大学 入試・広報センター

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/>

TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp